

第6号様式（第24条関係）

プロポーザル選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選考した受託候補者と契約を締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	会津若松市下水浄化工場等包括的運転管理業務委託業務		
履行期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日	担当課	上下水道局総務課
契約相手方	株式会社 ウォーターエージェンシー 福島オペレーションセンター 会津営業所 営業所長 安部 綱一	契約締結日	令和4年12月23日

2 選考結果

ヒアリング日	令和4年11月9日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・大橋 良生（会津若松市上下水道事業経営審議会副委員長） ・上杉 雅明（会津若松市上下水道事業経営審議会委員） ・小俣 洋士（公益社団法人日本下水道協会経営・研修部経営課長） ・若尾 正光（地方共同法人日本下水道事業団東北総合事務所次長） ・角田 章（会津若松市上下水道局経営企画課長）
選考方法	<p>選考委員5名が出席し、業務提案者1者からのプレゼンテーション（提案内容の説明）及びヒアリング（質疑応答）により、提案内容を確認し本事業の評価基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。</p> <p>その結果、今回提案のあった1者の業務提案の評価は、委員の平均得点が286.4点で、本事業の評価基準に定める最低得点の228点（評価点合計380点中）を超えており、要求水準書を満たしているものとし、業務提案者を受託候補者として選定した。</p>
選 評	<ul style="list-style-type: none"> ・特に水再清ロボットを活用した技術は特許も取得しており、画期的システムである。 ・温室効果ガス、脱炭素への取り組みにおいて、自社の技術を活用した先進的な技術の導入や、汚泥の肥料化70%や再生可能エネルギーの積極的な活用も評価できる。 ・業務実施体制や災害時対応も全社的対応が取られており万全である。 ・未利用地等（土地及び工場空きスペース）の有効活用については、具体的な提案に乏しく、物足りない内容と感じたことから、予算に限りはあるものの、魅力的かつ、実現可能な提案を期待する。 ・総合的に考え、受託候補者として、適切に業務を遂行できると考えられる。 ・インフレの中、予算額で当初の計画を実行することが困難になる場面が生じてしまうかもしれないが、会津若松市の住民の皆様が安心して暮らせる様、無駄なことがないか等、PDCAサイクルをまわしながら、また省エネや地域貢献について、やりすぎることはないと思うので、情報発信とあわせて積極的に行動に移していただきたい。

3 評価点

参加者名 (受付順)	評価点																	
	1: 業務 実施 計画	2: 業務 実施 体制	3: 運 転 管理	4: 保 守 点 検	5: 汚 泥 処 分	6: 電 力・ 薬 品 等 の ユ ー リ 調 達	7: 水 質 分 析、 環 境 計 測	8: 修 繕 計 画	9: 業 務 の 再 委 託	10: 省 エ ネ ギ 対 策	11: 防 災、 及 急 時 危 機 管 理	12: 研 修 体 制、 人 材 育 成	13: 業 務 の 引 継	14: 地 域 貢 献	15: 浄 水 場 の 活 用 に 対 し て 未 利 用 地 等 の 有 用 な 案 を 提 案 す る と の 行 き 届 き	16: そ の 他 の 業 務 提 案	17: 案 積 提 見 書	最 高 採 点 者 数 又 は 合 計 点
株式会社 ウォー ターエージェンシー 福島オペレーション センター 会津営業所	120	126	84	80	72	76	76	84	72	126	120	72	30	120	72	102	-	1432 / 1900

※ 評価点は、評価項目ごとの選考委員の合計点です。